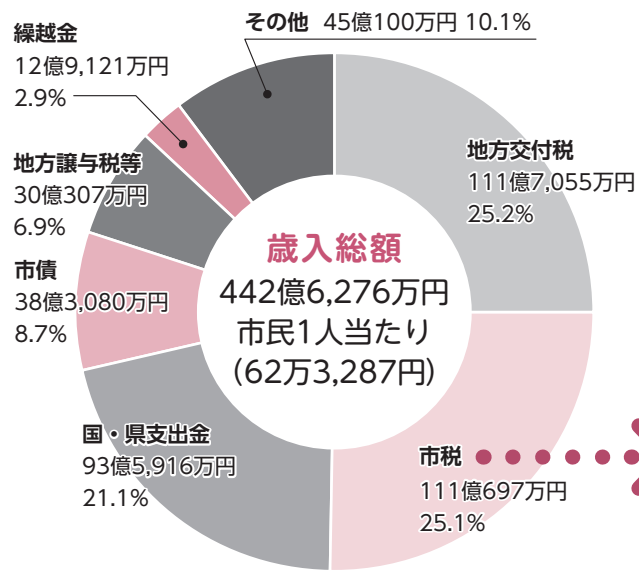


一般会計の内訳

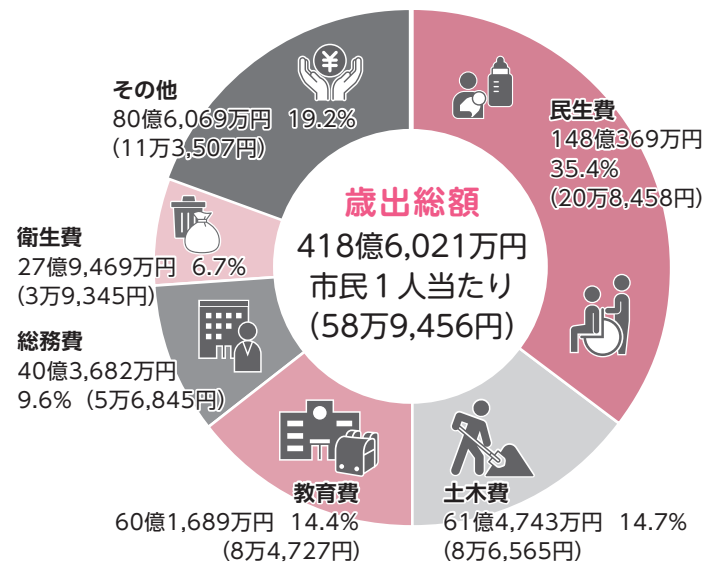
歳入



市税	皆さんから納めていただいた税金（市民税・固定資産税等）
地方交付税	国税（所得税・法人税等）の一定の割合の額が財政力に応じて交付されたもの
国・県支出金	国や県から一定の割合で交付された補助金等
市債	道路などの建設事業等のための借入金
その他	財産収入、負担金、使用料等

市税の内訳		決算額
	市民税（個人）	37億9,189万円
	市民税（法人）	8億981万円
	固定資産税	51億5,336万円
	軽自動車税	3億1,259万円
	市たばこ税	4億8,885万円
	都市計画税	5億4,834万円
	入湯税	213万円

歳出



- 1 子ども、高齢者、障害者への福祉サービスのために（民生費：148億369万円）
- 主な実施事業：私立保育所等運営費、障害者自立支援給付事業、児童手当等、民間認定こども園整備補助事業、医療費助成事業



- 2 道路や公園などの整備、市営住宅の管理運営のために（土木費：61億4,743万円）
- 主な実施事業：竜野駅周辺整備事業、龍野IC周辺まちづくり区画整理事業、市営住宅長寿化整備事業、道路メンテナンス事業、市道修繕事業



▲ 竜野駅周辺整備事業

- 3 教育や教育施設の維持管理、文化スポーツの振興のために（教育費：60億1,689万円）
- 主な実施事業：小中学校施設整備事業（屋内運動場、屋外プール、空調設備など）、赤とんぼ文化ホール整備事業、小中一貫校整備事業、ICT教育環境整備事業、中心市街地複合施設基本構想策定事業、人工芝多目的グラウンド整備事業
- 4 市役所の管理や住民票の発行、選挙の執行のために（総務費：40億3,682万円）
- 5 予防接種や健康増進事業の実施、ゴミ・し尿の処理のために（衛生費：27億9,469万円）
- 6 借入金の返済、議会運営、農商工業の発展、防災対策のために（その他：80億6,069万円）

令和7年度 たつの市決算状況

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納められた税金がどのように使われている
かお知らせしています。 ▶ 財政課（☎64・3143）

一般会計
決算

歳入 442億6,276万2千円 歳出 418億6,021万2千円
歳入歳出差引額：24億255万円 実質収支黒字額：17億6,557万2千円
（※歳入歳出差引額から翌年度繰越財源 6億3,697万8千円を除いた額）

特別会計決算

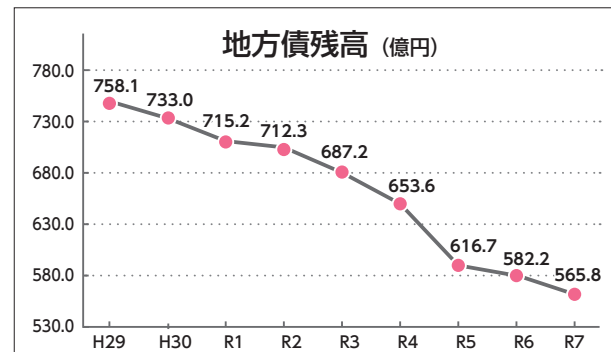
会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
土地取得造成事業特別会計	1億5,157万1千円	1億5,157万1千円	0円
揖龍公平委員会事業特別会計	82万9千円	63万4千円	19万5千円
国民健康保険事業特別会計	78億5,836万4千円	78億3,270万4千円	2,566万円
後期高齢者医療事業特別会計	15億2,946万7千円	15億2,576万5千円	370万2千円
介護保険事業特別会計	71億8,677万8千円	71億1,823万7千円	6,854万1千円
病院事業債管理事業特別会計	1億4,596万8千円	1億4,596万8千円	0円

企業会計決算

会計名	区分	収入決算額	支出決算額
水道事業会計	収益	11億6,461万5千円	9億4,602万2千円
	資本	323万4千円	4億4,134万3千円
下水道事業会計	収益	45億8,897万円	43億5,376万8千円
	資本	20億3,602万1千円	35億8,225万円
国民宿舎事業会計	収益	1億5,873万6千円	2億2,751万5千円
	資本	0万円	0万円

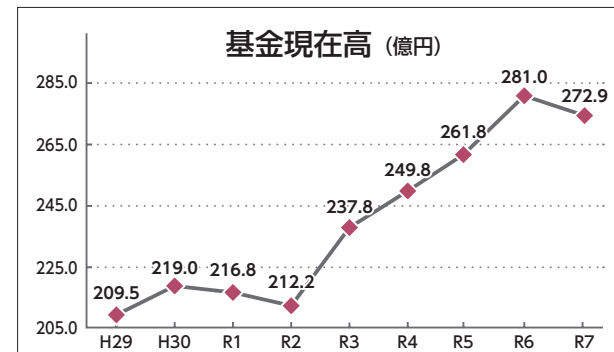
地方債残高と基金現在高について

地方債 市全体の借金は16.4億円減少



地方債は自治体の借金のことです。
昨年度に引き続き、計画的な借入れを行い、市全体の地方債残高が約16.4億円減少しました。これは、新規借入れよりも過去の借入れ償還が進んでいるためで、今後も計画的な借入れ・償還に努めていきます。

基金 市全体の貯金は約8.1億円減少



基金は自治体の貯金のことです。
令和7年度は、龍野IC周辺まちづくり区画整理事業や小中一貫校整備事業などの財源としたため、基金の残高が約8.1億円減少しましたが、今後も計画的な積み立ておよび活用を行いながら、安心・安全なまちづくりに向けて健全な財政運営に努めていきます。

たつの市の財政状況について

毎年、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、市の財政状況を表す指標を算出しています。
国の定める基準値を超えると財政状況が悪いと判断されますが、指標の一つである実質公債費比率※は6.5%で、基準値を大きく下回っています。
その他の指標においても、全て基準値を下回っていることから、本市の財政状況は健全と言えます。

※ 実質公債費比率とは
一般会計等の借入金（地方債）の返済額やこれに準じる額（公営企業会計の借入金の返済に充てる繰出金）などが標準財政規模（市税や普通交付税など通常収入されると見込まれる財源）に対する割合を示すものです。